

東海大学(教育支援センター)殿

所在地：〒259-1292 神奈川県平塚市北金目1117番 tel. (0463) 58-1211 (代表)

ホームページ：<http://www.u-tokai.ac.jp>



卒業研究発表を指導される
浅香講師

東海大学殿は、より良い教育を行うため常に最新の教育機器を導入するとともに、より良い教授法の開発に努力していることでも知られています。

教育支援センターはより解りやすい教育方法の開発、様々な教育機器の導入、教材の作成などを統括し実施している部門で、その中でも技術課は湘南校舎だけでも三百以上ある教室で最善の教育が行われるよう、視聴覚設備の設計設置、全国各地へ出掛け取材した映像などからの教材作成、人工衛星を利用した国内外との遠隔教育などを行ってられます。



**教員の間では、
学会発表の際に携帯できる
モバイルタイプが好評。**

全国13学部3万人以上の学生が集う東海大学殿の中でも最も大きいキャンパスであり、8つの学部が集まる湘南校舎に、教育支援センター技術課の戸枝副主事様をお訪ねし、取材させていただきました。

東海大学殿では、本格的にビデオプロジェク

タを導入し始めたのが15年ほど前。授業を中心に利用されるようになりましたが、現在では学会発表や学生の課外活動など、様々な用途で利用されています。

当時の製品は、主にビデオの上映などに使用することが目的だったそうですが、3管式が主流であったため大きくて重量があり、更に現在の製品に比べると画像が暗いということで、使用方法が限定されていたということです。現在は、主な使用目的がビデオ上映からパソコンによるプレゼンテーションに変わってきており、教員からは常により明るい製品の要望があるとのこと。

様々なタイプを導入しておられ、今後も逐次追加していく方針だそうです。今回、工学部卒業研究発表の予行演習授業において、投映型フルカラー液晶モバイルプロジェクタLT155Jをお試しいただきました。研究発表を3~4人のグループごとに交代で行う授業を拝見しましたが、発表者はそれぞれLT155Jにパソコンを接続し、指導教員のもと、たいへん高度な発表テクニックを修得しているという印象を受けました。パソコン教室では、LT155Jが最大限活用されている場面を見学させていただきました。

Interview

東海大学殿は、2000年11月にLT150Jをご購入、ViewLight CLUBにご入会いただいています。湘南校舎をお訪ねし、教育支援センター技術課の戸枝副主事からお話を伺いました。



東海大学では、プロジェクタをよくお使いになっているのでしょうか。

戸枝様 はい、15年ほど前に導入したのが最初でした。3管式の大きいものでした。主に

ビデオを投映するのが目的だったのですが、今はあまり使っていません。現在は、機種も台数も増えまして、固定式のもの、天吊り式のもの、移動可能なものと、いろいろあります。NECのLT150Jもありますよ。学会で使うほか、授業でもよく使っています。学生はあっという間に駆使するようになってしまいますね、課外活動でもよく利用するんです。

当社のものも含め、プロジェクタをそれだけ駆使されていると、プロジェクタを見る目も肥えていらっしゃるんですね。

戸枝様 プロジェクタの導入は絶えずありましてね、大学当局としては毎年時期を見計らい、教育支援センターの主導で検討しているんです。そういう中で、今後はモバイルタイプのもをもっと増やしてほしいという要望が多くなっていますし、私どももそのようになっていこうと思っています。

なぜモバイルなんですか。

戸枝様 現在もそうしたタイプのものはいろいろありまして、各講師室に点在させています。しかし、もっと簡便に持ち歩けるものがあつた方がいいと思っています。

導入を決定される上でのポイントはどこに置かれていますか。



は格段に

戸枝様 まず明るさと解像度で見ます。業者さんに色々集めてもらって試していますが、近年のプロジェクタ



性能が向上していますから、選ぶのも難しくなってきましたね。ただ、持ち運びしやすいというのは必須条件になるでしょう。学内で移動して使うということもありますが、学会発表の際に、自分のものを自分で携えて行きたいという要望がとても強いからです。

先ほど、導入のご検討は教育支援センターがされるということでしたが、導入された後、各講師室などに配分されるわけですね。操作指導もされるのですか。

戸枝様 はい、各講師室に赴いて行きます。ですが、教官にしても学生にしても、あっという間に駆使するようになってしまいますね。使い方ということ言えば、去年からデジカメと組み合わせた利用法を提案していますよ。

ぜひいろいろお試しください。ところで、今回LT150Jをお試しいただいたわけですが、いかがでしたでしょうか。

戸枝様 前から所持しているLT150Jに関して、教官の間で、以前から携帯性が高いという評価が上がってきています。学会発表などの出張時に自分で持って行くのにいいということですね。LT150Jは、その兄弟機ということで期待通りという感想を持ちました。

本日はどうもありがとうございました。

Key word

プロジェクタ選びのポイント

- ・教育支援センターが選定、各建物に点在させ、使い方指導する
- ・明るさと解像度を軸に、各社のプロジェクタを集めて比較検討
- ・出張時でも使い慣れたモノを使いたい人に、モバイルタイププロジェクタ